

『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム in 福井

ふく育県子どもフェスタが開催されました。



こどもや子育てにやさしい社会づくりを推進するために、『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム in 福井 ふく育県子どもフェスタ』が令和 6 年 3 月 2 日(土) 福井県児童科学館(エンゼルランドふくい)スペースシアターで開催されました。施設では縁日やクラフト体験、「ふく育県」に関するクイズなど様々なプログラムが行われ、大勢の親子連れが楽しみながら参加しました。

開会挨拶では、杉本知事が「日本一幸福な子育て県『ふく育県』を目指し、子育て支援の充実強化を図っていることを報告。こども政策担当大臣のビデオメッセージでは、「こどもまんなか」の取組拡大に向けた施策について語りました。

■ 基調講演 こどもまんなかアクションの展開について

こども家庭庁企画官より、昨年 12 月に閣議決定されたこども未来戦略をもとに、児童手当などの経済的支援の拡充や、こども誰でも通園制度の創設など、今後 3 年間で集中的に取り組む「加速化プラン」について説明しました。また、「こどもまんなか社会の実現には、社会全体で取り組んでいくことが大切」と強調。国だけでなく地方自治体や民間とも連携しながら進めていると語り、全国的な意識改革として取り組んでいる「こどもまんなかアクション」を紹介。自治体や企業、個人など誰でも簡単に参加できる「こどもまんなか応援サポーター」が、SNS 等でつながり、個々のアクションが全国に波及して「こどもまんなか社会」が実現する展望を示しました。



ビデオメッセージで「こども大綱」の閣議決定を報告した加藤大臣



福井県の杉本知事は切れ目のない支援を「ゆりかごから巣立ちまで」と表現



こどもまんなかアクションの広がりを伝えたこども家庭庁企画官の基調講演



会場全体が一体となって誠お兄さんと一緒に体操を楽しみました

■ トークセッション 「こどもまんなか」をみんなで考えよう

トークセッションでは、杉本知事とこども家庭庁企画官のほか、テレビでお馴染みの第 12 代体操のお兄さん福尾誠氏、ふく育サポーターの濱田敦子氏が登壇し、それぞれの立場から様々な意見を交わしました。

3 歳のこどもをもつ濱田氏が福井での子育て環境について「子育ての支援サービスが以前より拡充してきていると感じる」と実感を語ると、杉本知事より、令和 4 年度に日本一幸福な子育て県「ふく育県」を宣言したほか、学力や体力が全国トップクラスでこどもが幸福に成長できる環境であることが明かされました。ただ、合計特殊出生率が全国 9 位の福井県でも国の目標「1.8」には届いておらず、こども家庭庁企画官は「全国的な課題。各地域の課題を踏まえて対策していきたい」と述べました。また、「こどもの成長とともに出費は避けられず、2 人目を考えるとその足を踏んでしまう」とのコメントに対し、こども未来戦略に、児童手当の拡充など経済的支援の強化が盛り込まれたことを報告。杉本知事も地域の支援体制強化として「ふく育さん」「ふく育タクシー」等のほか、来年度から第二子以降の保育料無償化や高校授業料無償化について所得制限を撤廃したと PR。福尾氏は「こどもにも分かりやすいシンプルなサービスが気軽に試せるようになってほしい」と、期待を寄せました。

また、こども家庭庁企画官が「男性の家事・育児参加は、女性の孤独感や孤立感、肉体的な負担の軽減にもつながる。男性育児休業取得率 85%を目指している」と説明すると、杉本知事も「今年度から男性育休促進企業奨励金を開始するなど、男性育休取得推進に向けた機運醸成を図りたい」と意欲をみせました。

最後には、誠お兄さんによる体操で親も子も楽しく体を動かし、笑顔いっぱいの締めくくりとなりました。



【概要】名称:『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム in 福井 ふく育県子どもフェスタ / 場所:福井県児童科学館(エンゼルランドふくい)スペースシアター / 日程:令和 6 年 3 月 2 日(土) / 内容:《基調講演》こども家庭庁企画官「こどもまんなかアクションの展開について」《トークセッション》「こどもまんなか」をみんなで考えよう / 主催:福井県健康福祉部こども未来課 / 共催:こども家庭庁